

ものづくりと各地との交流を示す遺物が多数出土！ 国史跡青谷上寺地遺跡

●あおやかみじちいせき

平成29年度に実施した第17次発掘調査では、弥生時代終末期（約1800年前頃）の人々の生活の痕跡として、土坑約350基と焼土面2カ所を確認しました。

土坑のなかには、たくさんの割れた土器を捨てた穴などがありました。3カ所の焼土面は、とても強い火を受けて地面が赤く焼き締まっています。どのくらいの温度で焼けているのか、どのような目的で火を焚いたのか、持ち帰った土をこれから分析して明らかにします。

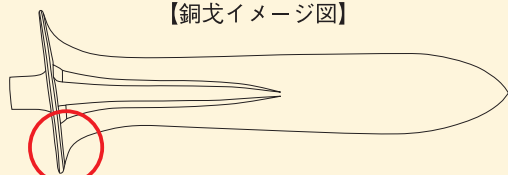
遺物では、他の地域で製作されたとみられる銅製の鏃（やじり）や、有力者が身に着けていた玉類（ガラス製・石製）がたくさん出土しました。また、ガラス片や溶着したガラス粒の塊が出土しており、この周辺でガラスの再加工や玉類の生産が行われていたと考えられます。

また、中国の貨幣である「貨泉（かせん）」や、近畿地方に多いタイプの「銅戈（どうか）」の破片もみつき、青谷上寺地遺跡が交易の拠点として他地域と盛んに交流していたことをあらためて確認することができました。



弥生時代終わり頃（約1800年前）の遺構検出状況
※白線部分が遺構

【銅戈イメージ図】



鳥取県で初めて出土した
銅戈（破片）



本遺跡で5枚目の
出土となる貨泉

とっておき情報

青谷上寺地遺跡展示館で発掘速報展が開催されます。ぜひご来場ください！

〈青谷上寺地遺跡展示館ロビー展 青谷上寺地遺跡 発掘調査速報展〉

- 開催期間 3月17日(土)～5月27日(日) (予定) 9時～17時
- 場 所 青谷上寺地遺跡展示館ロビー
- 入 館 料 無料
- 問 合 せ 青谷上寺地遺跡展示館 電話 0857-85-0841

国史跡妻木晩田遺跡

●むきばんだいせき

松尾頭（まつおがしら）地区で発掘調査を行っている墳丘墓は、四角い墳丘の外周に沿って溝が掘られ、その四隅が途切れて土橋状に溝の外側とつながる「方形区画墓」（ほうけいくかくぼ）であることがわかりました。出土した土器から弥生時代終

末期（3世紀前半頃）の墳丘墓と考えられ、これまでに見つかった松尾頭1号墓・2号墓よりも前に造られた可能性があります。溝の中からは土器のほか、鉄鏃（てつぞく）が1点出土しました。発掘調査は来年度も継続して行う予定です。



発掘調査中の墳丘墓のすがた



出土した鉄鏃（矢の先端部）

◆問合せ：鳥取県立むきばんだ史跡公園

電話 (0859) 37-4000 ファクシミリ (0859) 37-4001

ホームページ <http://www.pref.tottori.lg.jp/mukibanda/>

Eメール mukibanda@pref.tottori.lg.jp

Facebook <http://www.facebook.com/Mukibanda>